

ページごとにレイアウトを自動変更

ページごとに異なるレイアウトを自動的に割り当てる設定ができます。ここでは、ヘッダの文字を左ページでは左寄せ、右ページでは右寄せにしています。同様にフッタでもページ番号や文字の位置を左右に振り、文字の内容も切り替えています。各ページの左右の余白は左ページは右側を大きく、右ページは左側を大きくとってあります。

電子ファイルの形式としての **PDF** を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように **PDF** のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさを、なんという文字を書くか、どんな太さを、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさを配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。